

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
大 曲 小学校	地域活性化へ「地域での学習を地域へ還元・発信」 支援をいただくだけでなく、地域への還元・発信を単元の全体計画に位置付けた。2年生は生活科でお世話になったお店へ図工の作品を展示した。4年生は花火の学習を基に全校に呼びかけてエール花火への感想やお礼を手紙にまとめ、はなび・アムに展示した。5年生は地域の食をPRするためのポスターを作成し、関連するお店に掲示した。	・大曲商工会議所青年部 ・花火通り商店街 ・はなび・アム	○学校として初の試みであった。地域の方々が児童の作品を温かい気持ちで見てください、学校の取組について理解を深めたりしてくれた。児童も満足感を得ることができた。 ●来年度は全学年が年に1回、何らかの形で本活動を行うことを確認した。地域の声が直接児童に届けられるような工夫ができれば、より満足感や成就感をもたせることができそうだ。
神 岡 小学校	「エール花火」後のクリーンアップ活動 今年度、大仙市では「エール花火」を各小・中学校ごとに打ち上げた。本校では事前に花火師を招いて花火学習を全校で行った。打ち上げ当日は雨にもかかわらず、多くの児童が保護者とともに花火を鑑賞することができた。打ち上げ2日後には、中学校と一緒に会場のクリーンアップを実施した。	・大仙市教育委員会 ・大仙市役所神岡支所 ・神岡中央公民館 ・神岡地区交通指導隊 ・花火打ち上げ業者 ・平和中学校	○花火工場の見学だけでなく、花火学習会や花火鑑賞、事後のクリーンアップまで一連の流れの中で学習することができ、地元愛が更に高まった。 ●クリーンアップ活動は小中連携で実施したが、こども園との交流を図ることも検討している。
中 仙 小学校	八乙女学習 ～守ろう 伝えよう 地域の宝 八乙女山～ 「八乙女山を守る会」の桜守の仕事を本校6年生がお手伝いして12年目となる活動。樹木医のお話、自然観察会、施肥活動やつる切り体験、江戸時代から川湊として栄えた長野地区の歴史学習や桜の植樹等を行い、八乙女山を大切に思う先輩の熱い心に触れることを通じて、地域の宝を受け継ぐ意欲を醸成している。	・八乙女山を守る会	○「八乙女山は前九年の役の古戦場跡」「江戸後期には菅江真澄も訪れた」と聞いて、歴史の舞台として自分のふるさとを誇りに思うことができていた。 ●校外にも、ふるさとである中仙や長野地区をアピールするような取組を進める。
清 水 小学校	学ぼう！深めよう！ふるさと清水から「黒土神楽」 昭和63年に復活した約300年の歴史をもつ黒土神楽を6年生が下級生を指導する形で、児童の間で継承している。神楽に誇りをもつとともに、地域の一員としての自覚を高めることができる行事である。毎年、ドンパン祭りの際に地域にも披露している。	・黒土神楽保存会 ・清水分館長	○地域の方々と触れ合う中で自分も地域の一員であるという意識を高めるとともに、自分が地域に貢献しているという自己有用感を実感できるようになった。 ●地域行事参加等の教育課程への位置付け、カリキュラムマネジメントが課題となっている。

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
豊 川 小学校	水神社清掃奉仕活動 ----- 高学年児童が、県内唯一の国宝を有する学区内の神社で清掃奉仕活動を毎年行っている。郷土を愛する心や地域の一員としての自覚を養う。	・ 水神社総代及び氏子	○杉の巨木が並び立っているため、落葉が大量で作業は難儀であるが終了後は達成感を味わうことができた。社殿の水拭きも行った。 ●学校統合も踏まえ、児童会主催の活動への移行を検討していきたい。
桧木内 小学校	避難所開設訓練 ----- 災害が発生したとの想定（主に地震や大雨による土砂崩れ）で、本校体育館を避難場所として実施。災害時における主体的に考え判断し、行動できるようにするとともに、防災についての関心を高める。	・ 地域青年団 ・ 桧木内中学校 ・ 仙北市総合防災課 ・ 角館消防署西木分署 ・ 仙北警察署 ・ 桧木内婦人会 ・ 仙北市子育て推進課（放課後児童クラブ）	○避難所の開設・炊き出し訓練ができ、その手順を確認できた。多くの方々の参加もあり防災に関する意識を高めることができた。 ●地域青年団主催による初の開催で市当局や関係機関に頼る場面が多く、指示連絡窓口を一本化する必要がある。3密回避の方策も検討の余地がある。
六 郷 小学校	まちづくりを自分たちの手で ----- 六郷商店街のリノベーション活動に参加し、「自分たちにできるまちづくり」を考え、花植えや店内看板作製福引き抽選会等、体験的な活動を通じて、地域の活性化に取り組む。	・ まちなかエリア活性化実行委員会 ・ 65テラス運営合同会社 六郷家守舎	○地域とつながりながら貢献する取組によって、自分たちの可能性を感じながら地元への愛着をもつことができた。 ●コロナ禍の影響で例年より活動が制限された。そのような中であってもできることを工夫し、より継続的にリノベーション活動に取り組むことが必要。
旭 小学校	横手やきそばをキャベツで応援！ 横手焼きそば用キャベツの収穫祭 ----- 3年生が横手やきそばを通じて、町おこしをしている活動へ協力し、横手焼きそば用キャベツの収穫作業を行う。キャベツを通じて、横手やきそばを応援、さらには横手市の応援やPRへつなげる。	・ 塚堀農事生産組合 ・ 南旭川水系土地改良区 ・ 横手やきそばサンライ's	○子どもたちにとっても魅力ある横手やきそばに関わることで、地域を応援していこうとする意欲や地域に貢献していこうとする気持ちを高めることができた。 ●キャベツの世話をなるべく自分たちで行う活動になるよう時間の設定や調整を検討していく。

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
横手北 小学校	のびる学年(6年生)「感謝プロジェクト」 6年生が感謝の気持ちを伝えるプロジェクトの一つ。コロナ禍で頑張っている医療従事者や普段お世話になっている公民館の皆さんに感謝の気持ちを伝える活動。自分たちが植えて刈り取った米や、手作りハンコで作成したあまびえのポスターを届けさせていただいた。	・秋田県南旭川水系土地改良区 ・市立横手病院 ・北小関連の公民館	○今年の現状に合わせて臨機応変な活動を行うことができた。新聞の取材を受けるなど反響も大きく、どのような活動をすべきか考えるよい機会となった。 ●単学年の活動を基に、全校で取り組んだり考えたりする工夫もあれば地域との連携やその充実が一層推進される。
大 森 小学校	福祉施設などでのボランティア体験活動 総合的な学習の時間などで子どもたちが障がい者や高齢者との出会いや触れ合い体験を通じて、生命の尊さや相手を思いやる気持ちを育てている。	・老健「おおもり」 ・大森地域いきいきサロン ・介護施設「くつろぎの里おおもり」 ・介護施設「森の家」	○高齢者や施設に入居している方々と同じ時間を過ごし、発表や思いを伝える活動を通じて高齢者に対する優しさや思いやりが育まれている。 ●今年度は感染症対策から触れ合いや体験を行わず、発表形式の訪問となった。触れ合いや体験をすることで、より成果が実感できると思う。
植 田 小学校	一人暮らしの高齢者への花のプランタープレゼント 福祉活動の一環として、全校児童が各町内ごとに民生児童委員と一緒に一人暮らしの高齢者の家庭を訪問し、児童が書いた手紙とともに、5月から育てた花のプランターをプレゼントした。	・民生児童委員	○高齢者の方々に大変喜んでいただいた。敬老精神が涵養され、福祉活動や地域活動への参画意識も高まった。 ●施設入居者やもらっても花の世話ができない等プレゼントを辞退する方々もいた。児童数が減少し、一人しかいない町内もある。
駒 形 小学校	地域クリーンアップ 地区自治会組織との共催で、学校の下校時に合わせ、通学路を中心にゴミ拾いを行う。	・学校運営協議会 ・地区自治会 ・PTA ・若駒支援隊(学校見守り隊)	○各地区の自治会役員や地域住民とゴミ拾いを通して交流することができた。 ●今年度は年2回であった。来年度は回数を増やしていく。

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
大 曲 中学校	生徒会執行部による地域貢献活動 部活動としての「生徒会執行部」による地域と連携してのボランティア活動。若竹町内会、社会福祉協議会等と連携して商店街の清掃ボランティア、一人暮らしの高齢者宅のゴミ出し、ふれあい手紙の作成、地域の観光案内図の作成、赤い羽根の募金活動等に取り組んでいる。	・若竹町内会 ・社会福祉協議会 ・大曲地域 くらしサポート協議会 ・花火通り商店街 ・大曲商工会議所 ・大曲ロータリークラブ ・大曲史談会	○地域の町内会、商店街、高齢者にとっても好評であった。来年度も続けてほしいとの声が学校に届いており、やりがいを感じている。 ●新型コロナウイルス感染拡大の影響で昨年度、定期的に行っていた老人福祉施設への訪問が今年度は全くできなかった。
平 和 中学校	中川原公園のクリーンアップ活動 神岡地域小・中学生へのエール花火や地域の花火大会後に、全校生徒が花火会場の中川原公園に出かけ、夢のかけら（花火の残骸）等を拾うクリーンアップを行う。自分たちや地域のために打ち上げてくれた花火業者や協力していただいた地域の方々の努力や生きがい、感謝の気持ちを学んだ。	・神岡地域花火業者（和火屋、北日本興業） ・神岡小学校（5、6年）	○花火業者のお話を聞いたり、クリーンアップ活動を行ったりすることで、地域で働く方々の苦労や喜び、働くことの生きがいなども学ぶことができた。 ●活動の目的や地域貢献への意欲付け等の事前・事後指導を時間をかけて生徒に行う必要を感じた。
西仙北 中学校	みんなでラジオタイソウ クリーンアップ 夏季休業中、西仙北小学校児童会と西仙北中学校生徒会とで行われるクリーンアップ事業。中学生も各地で朝のラジオ体操に参加した後、小・中学生が協力して地域の清掃活動を行う。	・西仙北支所（ゴミ袋の提供） ・保護者	○地域へ貢献するという意識の高まりや、活動後の達成感を味わえることと、中学生のリーダーシップの育成が挙げられる。 ●雨天時の対応について、連絡方法を含め検討の余地がある。
中 仙 中学校	秋桜プロジェクト(桜守活動) 全校生徒で、斉内川土手の桜の木の追肥作業やせん定作業、河川敷の花壇に秋桜を植える作業を行った。中仙地域桜守協議会や八乙女山を守る会の方々の指導や協力の下、一年を通じて季節に応じた活動ができた。樹木医の話や活動から桜の木を守り育てようとする態度を養った。	・中仙地域桜守協議会 ・八乙女山を守る会 ・市職員 ・道の駅職員	○桜の保護活動について、その大変さと必要性を感じることができた。桜の名所であることを再認識し、維持保護していこうとする気持ちを高めた。 ●用具の確保が難しく、効率よく作業を進めることができなかった。時期によっては蜂や毛虫等の害虫が多く、かなり危険で注意が必要であった。

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
仙 北 中学校	旧池田氏庭園ボランティア学習 2年生が国指定名勝「旧池田氏庭園」でボランティアを行う。大仙市文化財課の方々から、ガイドの心構えや話し方を指導してもらい、洋館や雪見灯籠等の各ポイントで5グループに分かれガイドの実践を行った。ふるさとの有り難さや人の温かさに触れるよい機会となっている。	・大仙市文化財課 ・顕彰会ガイド ・生徒の家族	○2年時に郷土の文化遺産についての知識を深め自分たちとは違う視点から地域の遺産の価値を学ぶことにより、ふるさとに誇りをもつことができた。 ●この経験を活かして、休日や祝日にも自主的にボランティア活動に参加しようとする意欲を育てたいと考えている。
太 田 中学校	「ハートフルフラワー」プロジェクト 学校で生徒が丹念に育てた鉢花（ベゴニア）を一人暮らし高齢者宅と太田地域にある2カ所の高齢者福祉施設に贈呈する。高齢者の方々と関わることで、地域の高齢化の実態を学び、今後の太田地域を考える体験活動である。	・太田社会福祉協議会 ・特別養護老人ホーム「真木苑」 ・有料老人ホーム「ふじの華」	○とても好評である。花を贈られた高齢者が生徒に感謝の意を示してくれたことで、生徒は活動の意義を感じ、今後も継続していきたいという意欲に繋がっている。 ●生徒数の現状と増え続ける一人暮らし世帯の関係がアンバランスで、全ての該当者に対応できない。地域の世話人と連携して実態を把握し、活動にあたりたい。
生保内 中学校	スノーバスターズ 1, 2年生で、地域の高齢者世帯の雪寄せを行う。社会福祉協議会の協力の下、除雪を行うとともに、高齢者の方々とコミュニケーションを取ることで主体的に地域貢献を行う気持ちを醸成する。	・社会福祉協議会	○感謝の声をかけてくださるなど除雪したお家の方々に大変喜んでいただいた。活動した生徒は成就感を味わい、次の活動の意欲につながっていた。 ●雪の降り方によって、活動が中止になることもある。実施時期と必要な時期のずれも生じる。
神 代 中学校	抱返りクリーンアップ活動 観光客が多く訪れる仙北市の新緑、紅葉の名所である抱返り溪谷の清掃活動を全校生徒で行う。この活動を通じて、環境美化への意識、公共心を養うとともに、地域の一員として社会と関わる姿勢を実体験する。	・仙北市観光課 ・シルバー人材センター ・抱返り神社禰宜	○抱返り神社の禰宜にお願いして神社にまつわる地域の歴史についてお話をしてもらい、ふるさとへの愛着心が高まった。 ●地域貢献活動の一つとして、現在の年一回の活動から回数や場所を増やしていくことも考えられる。

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
桧木内 中学校	紙風船づくり 「上桧木内紙風船上げ保存委員会」の方々と共同し、地域の伝統行事「紙風船上げ」に使う紙風船3基を制作する。活動を通して、ふるさとの伝統を継承していく心情を高めるとともに、活性化に向け、どう観光客を集めるかどう地域を支えていくかにも考えを及ぼせ、地域の担い手としての自覚をもたせていく。	・上桧木内紙風船上げ保存委員会 ・ひのき清流会	○活動を継続していることで、地域の伝統を後世に伝えていこうとする意欲が喚起され、年々強化されている。今年度は行事を中止したが伝統の継承のため、園・小・中合同で冬祭りを計画した。子ども同士のつながりに加え、地域全体のつながりに進展していってくれることを期待している。 ●生徒数減による制作個数の減少、行事に参加できないということがあり得るということを危惧している。
横手南 中学校	防災ボランティア活動 自宅から避難所までの経路を確認するとともに、非常災害時に地域に貢献する態度を学ぶ。	・学区内各町内会	○自分の住んでいる地区の避難所を確認するとともに、地域の方々と触れ合うことで地域に貢献する気持ちを高めることができた。 ●今年度から始めた活動ということもあり、地域の方々と日程を合わせることが難しい面があった。来年度は小学校との連携の可能性を探りたい。
増 田 中学校	まちを花いっぱいにしようプロジェクト 町の中心街の通りに、プランターに植えた花苗を各商店等において玄関先に置いてもらう。そのことで観光客により気持ちよく増田の町並みを散策してもらえるようにする。	・増田町観光協会 ・まちなみ保存会 ・増田地域局	○町並みが明るくなるとともに生徒が町の営みに貢献している実感を得ることができた。 ●プランターを置いた後の世話等についてはお店の方々にお願いすることが多く、難儀をかけることとなった。
横手明峰中学校	明峰中生の力を地域に発信する「外部発信活動」 学校祭を規模縮小で実施する際、「外部発信」部門をつくり、次のような活動をした。学校や生徒の様子を紹介するポスターやメッセージカードを作り、学校祭で来校したお客様や地域の小学生に配布した。マスク、ぞうきん、おもちゃ、紙芝居を作り、地域の施設や保育園に寄贈した。	・老人養護施設 ・保育園 ・学区内各小学校	○生徒自身が地域貢献についてよく考え、必要感や衛生面に気を配りながら活動することができた。好評だったことで生徒の達成感が大きかった。 ●初めての取組だったため、手探りで進めていった。学校や生徒の様子をどのような方法で発信していくかは更に検討が必要である。

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
横手清陵学院 中学校	生徒会夏季ボランティア（横手市内クリーンアップ） 「地域にもっと貢献したい，地域の役に立ちたい」という生徒会執行部の声により行われた活動。地域の一人として地域に貢献する意欲を育てる。		○生徒会執行部が企画運営し，多くの生徒が賛同する活動となった。生徒の主体性ととも地域貢献への意欲も高まった。 ●PTAや地域団体等との連携を図ることで地域活動へ参画する意識を更に高めていきたい。
山 田 中学校	YAMACHUコーポレーション （地域貢献を目指す総合的な学習の時間） 全校生徒で作った会社組織で取り組む起業学習の3年目。コロナ対策として，昨年度同様の積極的な学校外での活動は自粛したが，会社組織を改編し，多面的に地域貢献を目指した。地元の発酵食品を利用した食品等の商品を開発して宣伝・販売，地域のクリーンアップ，コロナ感染拡大防止を呼びかける看板等の製作を行った。	・学校給食センター ・障害者就業・生活支援センター ・地域の味噌醸造所 ・地域の商店 ・レストラン ・アクセサリ作家 他	○組織を改編し，生徒一人一人が自分の目標をつとことができた。限定的ながら，事業所等で働く方々とのコミュニケーションを図る経験ができた。 ●コロナ禍における活動の態様。（交流できる対象が限定，縮小された。）地域の中学生としてのさらなる学習活動の精選と深化。
湯沢南 中学校	オリジナルスイーツを施設に提供 生徒が地元で生産されたサクランボの果肉を使ったフルーツソースを考案し，オリジナルスイーツを市内の菓子製造販売会社と共同開発する。また，製品を養護老人ホーム等市内の施設に寄付する。	・サクランボ生産農家 ・菓子製造販売会社 ・養護老人ホーム	○コロナ対策で学校祭に地域の方々を案内できなかったが，地域業者との協働で施設に寄付ができ，地元を元気にする活動ができた。 ●製品の商品化や販売について検討し，農家や団体，業者との連携のあり方を工夫改善していく必要がある。
東成瀬 中学校	キバナコスモス植栽活動 この活動は東成瀬村小中連携教育事業の一環として行われており，小・中学校周辺と村道，国道沿いにキバナコスモスを植栽する活動である。様々な方々と交流する中で「協力する心」，「優しい心」，「奉仕の心」を育むことを目的としている。	・村建設業協会 ・村役場企画課	○新型コロナウイルス感染防止のため，小学生や地域の方々との協働はなかったが，きれいなキバナコスモスを咲かせたことで，多くの方々から感謝のことばをいただいた。 ●新型コロナウイルス感染防止に努めながら，どのような形で小学生や地域の方々と関わっていくかを今一度検討する必要がある。

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
大 曲 支援学校	ふるさとを大切にする気持ちを育てる クリーンアップ活動 ----- 中学部全員でクリーンアップ活動を年8回行った。学校周辺地域、花火大会会場となる雄物川河川敷やスクールバス乗降場所等、日頃お世話になっている場所をきれいにすることで、地域の方々やふるさとを訪れる方々にも喜んでもらいたいという気持ちが育っている。	・商工会議所 ・商店街 ・大曲支援学校をささえる会	○同じ場所を何度か繰り返し行うことで、ごみが少なくなってきたなどの成果を実感できた。地域の方々に感謝の言葉を掛けられることが増えた。 ●生徒が地域のよさを発見できること、かつ安全なクリーンアップ箇所を検討することが必要である。
大 曲 支援学校 せんぼく校 (小学部)	「せんぼく季節のカレンダー」配付 ----- 開校当時から継続している活動である。児童が制作した「せんぼく四季のカレンダー」を仙北市内およそ30か所に配付している。	・学校支援ボランティア (カレンダー制作) ・仙北市役所 ・角館郵便局 ・J R角館駅 他	○今年度は、絵柄に「角館音頭」を取り入れたことで好評だった。また、カレンダー配付が児童にとって外部の方々から評価をいただける貴重な機会にもなっている。 ●新型コロナウイルス感染症対策もあり、カレンダーを掲示、活用している場面を見学する機会が十分とれなかった。
稲 川 支援学校	「第3回ふれあいマルシェ」における作業学習製品の販売活動 ----- 高等部生徒8名が湯沢雄勝地域包括支援ネットワーク協議会アンテナショップ「第3回ふれあいマルシェ」において、作業学習製品の販売活動を行った。	・湯沢雄勝地域 包括支援ネットワーク協議会	○作業学習製品販売や湯沢市役所及び商店街でのチラシ配りを通して、生徒一人一人が自分たちの作った製品のデザイン品質等に自信をもつことができた。 ●活動に参加するに当たっての事前学習や振り返りの時数確保。